

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年8月2日 (2012.8.2)

【公開番号】特開2012-90356(P2012-90356A)

【公開日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2012-26623(P2012-26623)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 16/32 (2009.01)

H 0 4 W 92/20 (2009.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 2 1 0

H 0 4 Q 7/00 5 5 1

H 0 4 Q 7/00 5 4 8

H 0 4 Q 7/00 2 3 8

H 0 4 Q 7/00 6 9 3

H 0 4 J 1/00

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 2 無線基地局が、第 1 無線基地局によって通知された M B S F N サブフレーム のパターンによって指定されているサブフレームと、A B S として設定されているサブフレームとが一致する場合、一致する該サブフレームを、「e I C I C」に用いられる A B S に設定する工程を有することを特徴とする移動通信方法。

【請求項 2】

第 1 無線基地局及び第 2 無線基地局を具備する移動通信システムにおいて、該第 2 無線基地局として機能することができる無線基地局であって、

前記第 1 無線基地局によって通知された M B S F N サブフレーム のパターンによって指定されているサブフレームと、A B S として設定されているサブフレームとが一致する場合、一致する該サブフレームを、「e I C I C」に用いられる A B S に設定するように構成されている設定部を具備していることを特徴とする無線基地局。